

税理士FPメルマガ通信

第123号

平成23年 4月 25日発行
編集：税理士FP実務研究会事務局
税理士FPビジネスサービス 総合企画部
東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー29階

今後の資産形成をどう考えるか その1



東日本大震災の影響でマーケットは大変混乱しました。株価は大暴落し、時価総額が 50 兆円減少しました。3 月 15 日の終値は、前日比 1015 円 34 銭安の 8605 円 15 銭でしたが、この下落率は、1987 年のブラックマンデー、2008 年のリーマン・ショック後に次ぐ過去 3 番目の大きさだということです。個人の方が、信用取引で 1 兆 8000 億円くらいの株式を買っているそうですが、この方々がどういう目に遭われたかという、株価が下がったために、追加証拠金を入れなければ強制売却になるという状況が起きました。つまり、意思に反して、投げ売りをせざるを得ない方が相当いらっしまったということです。3 月 15 日の日経新聞によりますと、「2008 年の金融危機時とほぼ同水準となる数千件程度の追い証が生じた可能性がある」ということです。

■ 投資ってなんだろう

投資には、もちろん自分の資産を増やしていくという大きな目的がありますが、結果的には、投資によって、一人ひとりが経済活動の中に参加していくことになります。個人が投じたお金は、企業の経済活動の下支えとなるからです。わたしたちも社会で働いていますが、お金も経済を成長発展させるために働くのです。働いた結果、企業や経済は大きく成長し、私たちは、そこからリターンというかたちで返ってくる利益を頂きます。これが本来の投資の姿です。

しかしながら、多くの人が抱く投資へのイメージは、もっと投機的な、マネーゲームの世界でしょう。みんな儲けよう儲けようとして、よりリターンの高いものに、リスクの大きなものに飛びつく。でも、少し考えてみてください。世界の経済成長は 5% です。経済成長以上のリターン、例えば 15% や 20% の配当を得るといのはどういうことなのでしょう。事実そういう商品も存在していますが、恐らくそんなハイリターンは、継続的にはありえないのではないのでしょうか。ある時期に、市場平均を大きく上回る投信もあるでしょう。でも、これまでのデータをみても、良い成績が長く続くというのはまれのようです。

売ったり買ったりの投資ではなく、継続的にじっくりとリターンを積み上げていくような長期にわたる投資をこれから、自分のためにも、また次世代のためにもわたしたちは考えていくべきだと思っています。

そういうわけで、今回と 2 回にわたり、そんな実質経済に則した、ゆっくりと継続的に、じっくりとリターンを積み上げていけるような投資 = 資産運用をするための考え方をいくつかご紹介していきたいと思います。

■ なぜ国際分散投資をするべきなのか

まず、わたしたちは、今後どういう投資をしていくべきなのかということですが、一番大きなキーワードは、「国際分散投資」だと思います。なぜなら、すでに成熟してしまった日本は、残念ながら今後高い成長は見込めないからです。

しかし、世界はどうでしょう？ゴールドマンサックスのデータによると、世界のGDPは、2010年 59兆ドル 2020年 87兆ドル 2050年 283兆ドルと、実に年4%の成長していく見通しです。

これを裏付けるものに、人口推移予想があります。今、世界の人口は69億人ですが、2050年には100億人になると予想されています。世界の平均年齢も29歳です。日本がこれまで辿ってきた経済成長の階段を同じように辿る国が世界にはたくさんあるのです。消費が縮こまって、経済成長の見込めない日本企業が、グローバル経済を見据えた戦略を打つのは不可欠でしょう。

私たち個人も同じことです。私たちが世界に投資をする理由です。投資をすれば、世界の成長を享受できるわけですから。

■ 日本の自給率をご存じですか？

今後、懸念されるのは、原油価格や穀物価格の急騰などの物価上昇ですが、過去にあったオイルショックの時と大きく違うのは、当時は日本が高度成長期にあったのだけれども、今はそうではないということです。現在の日本の食料自給率は、41%、石油など資源は0.3%、エネルギーは4%と、実に大半を輸入に頼っている状態です。今後、経済成長をしていく多くの国では、より豊かな生活を皆が求めるようになるでしょう。しかし、モノには限りがあるので、当然インフレが懸念されます。私たちの給料や年金は上がらないのに、生活費は上がることになるわけです。インフレと円安に備えて、海外資産を持つ必要があるというわけです。

■ 長期の視線で、国産分散投資を

大きなお金がなくてもすぐ始められる資産運用が、**投資信託を使った積立て国際分散投資**です。大きなリターンは望めないかもしれませんが、**分配金を再投資することで複利効果で資産を大きく増やすことができます**。次回、もう少し詳しくご紹介します。

著者プロフィール 岩城 みずほ 氏

オフィスベネフィット代表。CFPR DCプランナー

慶應義塾大学卒。NHK松山放送局を経て、フリーアナウンサーとして14年活動。

報道番組、パブリシティ番組、選挙特番などの他、BS、ラジオ、各種司会、リポーターを務める。

その後、金融機関の企業研修講師を経て、2009年にFP資格を取得。得意分野は保険と資産運用。

コンサルティング、セミナー講師、執筆、司会などを行っている。

オフィスベネフィット <http://www.officebenefit.com/>

ほけんぺでいあ <http://www.hokenpedia.com/>

somerise project japan <http://somerise.net/>

火曜ブログ 「わたしのほけんABC」金曜ブログ「わたしの資産形成ABC」

今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP 実務研究会事務局では、FP 実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP 実務研究会事務局【株）日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488